

令和 7 年

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	カンガルー療育支援室 川崎ステーション		公表日		2026年 3月 9日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	パーティション等を使用して遊びや活動に合わせたスペース利用を検討している。年齢別や時間帯を意識しながら過ごすようにしている。	長期休みの利用の際、児発・放デイ共に利用時間が重なるため、どうしてもスペースが限られてしまう。子供用トイレの造りも課題となっており、工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	1と同様、長期休みの児童数と人員配置が厳しい日があり、通所人数に合わせたスケジュールを工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	児童一人一人の特性に合わせた器具や環境を常に考えながら関わるようにしている。成長発達も視野に入れながら、設備拡充も検討予定。	
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃・消毒を徹底し、換気や加湿など、児童の特性に合わせた環境整備を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	活動室以外の部屋も常に使用できるように準備しており、風邪症状等の児童への個別対応も都度行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝のミーティングや記録を中心に振り返りを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	今回2回目の実施で、アンケート結果をもとに改善と目標設定の見直しを図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々のコミュニケーションの中で、常に情報をシェアするようにして改善を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	現在、第三者評価は実施していない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	スタッフの自己研鑽を積極的に進めながら、内部研修では職種別の勉強会を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	職種別にモニタリングを実施し、児童発達支援管理責任者がヒアリングを行いながら作成している。	
	13	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	朝の打ち合わせや書面での情報共有を行うことで、重要事項の抜けがないように努めている。	ケースカンファレンスの時間確保が難しく、書面での共有がほとんどになっている為、全体での話し合いが必要。
	14	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	作成・面談後に内容を共有して支援の統一に繋げている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	特定のツールは無いが、日々のコミュニケーションの中で確認するようにしている。	
	16	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	児童発達支援制度のガイドラインに基づいて、具体的な支援項目を記載している。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	児童指導員を中心に計画・実施する上で、多職種と連携し、児童の発達支援をサポートしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節行事や児童の特性に合わせた活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	活動時間、余暇時間を設定して適宜、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝の打ち合わせを行うことで、1日のスケジュールや役割、注意事項を確認しながらチームで支援することを意識している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	書面での情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	児童指導員が日々の振り返りを記録して次の支援に向けて、修正・改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	年2回の保護者面談を実施し、面談記録を通して、次回の支援に繋がるように検討している。	
	24	※放課後等デイサービスのみ 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1	ガイドラインに基づき、支援を行っている。	
	25	※放課後等デイサービスのみ こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	スイッチや絵カード等のツールを使用して、選択場面をできるだけ多く取れ入れるように努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	サービス担当者会議に参加している。	
	28	※児童発達支援のみ 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保育園、学校との連携を密に取り、必要な情報を共有するようにしている。	
	29	※児童発達支援のみ 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	今後行う予定だが、事業所発信で進めていく。	
	30	※児童発達支援のみ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	子ども文化センターと連携を取りながら、季節イベントの際には交流するようにしている。	
	31	※放課後等デイサービスのみ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校発信の連絡会や学校便り、専用のアプリを使用することで情報を共有している。	
	32	※放課後等デイサービスのみ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	現在、交流していない。	
	33	※放課後等デイサービスのみ 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	生活介護事業所や相談支援事業所と連携を取りながら、切れない支援を目標に情報共有を図っている。	
	34	※放課後等デイサービスのみ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	現在、実施していない。	
35	※放課後等デイサービスのみ (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	現在、参加していない（そのような場所があるか不明）		

	36	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	現在、実施していない。	
	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の連絡帳のやり取りや送迎時の申し送り、LINE等での写真共有などで常に共通理解ができている。	
	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	代表者が研修参加後、他スタッフに対して共有を行う予定。	
保護者への説明等	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時の説明で丁寧に実施している。	
	40	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	個別支援計画面談の際にその意向を確認している。	
	41	「児童発達支援計画」及び「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	個別支援計画面談の際にその意向を確認している。	
	42	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	面談や個別での相談を受け付けながら、適切に対応している。また、担当者会議においても各サービス提供事業所と共に適切な助言を行っている。	
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	現在、実施していない。	
	44	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	個別の相談等については、管理者を中心に事業所内で共有・検討を行い、状況に応じて自治体等の公的機関へ繋げるようにしている。	
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPやInstagramを通じて活動の様子を発信するようにしている。	
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	SNS等の個人情報漏洩防止や書類等の個別情報も十分に注意して扱うようにしている。	
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	十分に配慮している。	
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域への交流を行い、事業所の存成意の理解が深まるように努めている。	
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各々のマニュアルの作成・見直しを適宜行い、訓練等を実施している。	
	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	適切に策定すると共に、火事・地震・洪水等の災害訓練を実施している。	
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時・利用開始時に保護者より確認している。通所時の緊急対応に向けたマニュアルも作成している。	
	52	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6	0	医師の指示書及び保護者へのアレルギーの有無の確認を行って支援している。	
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に記載されている事項に基づき、訓練及び研修を実施している。	
	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	特に周知等はしていないが、避難訓練を行うことで安全確保の徹底に努めている。	
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハット、事故報告書を作成・共有して再発防止に努めている。	

56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年2回の研修（座学・チェックリスト実施）を行い、適切な対応を行っている。	
57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束マニュアル、身体拘束適正化の方針に職員周知を行い、日々の支援に繋げている。安全面の観点から緊急時にやむを得ず拘束を行う場合は、職員で検討の上、保護者の同意を得て実施する予定。	